

3月6日(水) 朝礼のお話し

だん どり はち ぶん 段 取 り 八 分

早いものでもう3月になりました。今の学年でいられるのもあと1ヶ月になりましたよ。6年生はいよいよ卒業のカウントダウンも大詰めですね。

さて、今日は「段取り八分」と言うお話しをします。「段取り」とは何のことかわかりますか？これは職人さんとか、お仕事をする人たちがよく使うことばです。簡単に言うと、仕事の準備ということです。

例えば、壁や門などにペンキを塗る仕事をする職人さんがいます。この人がどこかの家から自分の家にペンキを塗って欲しいと言う注文を受けたとします。さあ、このペンキ職人さん、先ず何をするでしょう。すぐにペンキを持ってその家に行ってペンキを塗り始めるでしょうか？そんなことはしません。

実際にペンキを塗る前にやるのがたくさんあるのです。まず、ペンキを塗る場所を見に行きます。そして、どんなペンキがどのくらい必要なのか、道具はどんな物を使ったら良いか考えます。それでペンキを塗れるでしょうか？まだダメです。次にやるのはペンキを塗る場所の準備です。よけいな所にペンキがつかないようにカバーをしたり、地面にシートを引いたりします。ペンキを塗る場所によっては近所の人にお知らせにしなければなりません。これで大丈夫でしょうか？まだダメです。次はペンキを塗るところの汚れや錆を落とします。これはペンキを塗るよりずっと時間のかかる大変な仕事です。さあ、これでいよいよペンキが塗れるでしょうか？まだやる必要があります。ペンキはフタを開ければすぐに使えるものではないのです。その日のお天気や塗る場所に合わせてペンキをちょうどよく薄めなければなりません。

ここまでやって、ようやく本当にペンキを塗ることができます。逆に言えば、ペンキを塗る前にこんなにたくさん仕事をしなければならぬということです。でも、ここまで仕事を丁寧にきちんとやれば、その後のペンキ塗りはうまくいくに決まっています。つまり、良い仕事をするために大事なことは仕事をする前の準備だということです。ペンキをぬる仕事全部を十とするとそのうちの八までは準備の仕事、つまり段取りだということです。これが「段取り八分」と言う言葉の意味です。良い仕事をするためには準備がとても大切だと言うことを表した言葉ですね。

3学期の始業式に校長先生はこの3学期は4月からの新しい年のための大事な準備の時間、飛行機で言えば飛び立つために滑走路を走ってスピードを上げる時間だと言いました。その準備のための時間があと少しになりました。皆さんの段取りはどこまでできていますか？1年生は2年生として、新しく入って来る1年生にかっこいいところを見せられますか？5年生は最高学年として学校全体を引っ張っていくお手本になる準備はできていますか？3月の残りを大事にして、しっかり4月からの準備をしてください。

さて、実は今年度の全校朝会は色々な都合で今日が最後になります。今日まで毎回一生懸命聴いてくれて本当にありがとうございます。校長先生、毎回とても気持ちよくお話しすることができました。